

2001年1月1日
第4巻第1号(通巻13号)

UA神奈川学習センター

ふゆ だより

ハイライト

特集：大学生活と卒業

2 いま思うこと

3 私にとっての卒業

4 放送大学と私

5 活動報告：「かけはし」

6 活動報告：「菜の花の会」

学生団体・サークル情報



[イラスト：坂戸五葉]

放送大学神奈川学習センター
〒232-0061 横浜市南区大岡 2-31-1
TEL:045-710-1910
FAX:045-710-1914
<http://u-air.net/kanagawa/>
E-Mail:social@u-air.ac.jp

いま思うこと

西尾 まつ枝

特集：

大学生活と卒業

「女が勉強して何になるんだ。」中学卒業を目前にしての私に言った父の言葉でした。高校進学率の少なかった50年前のことです。それから働きながら夜は4年間、定時制高校に通いました。結婚してからも三人の子育てをしながら働き続けました。それは育児に専念したくても一旦職場を辞めたら再就職は困難な時代だったからです。NTTの職場で36年間働き、藤沢市議会議員として三期12年間、昨年65歳で引退をして私はやっと自分だけの時間をもつことが出来ました。放送大学は議員時代に教育問題（児童心理）や高齢者福祉に取り組んだ時、当時放送大学在籍中の私の姪から関連するビデオや教科書を借りて参考にしました。大学とは遠い存在だと思っていた私にとって、情報機器を使って実生活にすぐに役立つ放送大学の教育内容、これなら私でも出来るし、学びたいと思いました。そして入学したのは三年前のことです。不思議なことにいままで関心のな

かった学科に興味をもちはじめ授業に喜びを感じはじめました。新しい自分発見です。またレポートを提出してホットした時、テストの時のある種の緊張感と終わった時の解放感もなつかしく好きです。

海外旅行のスペインでは回教徒に関心をもち帰ってから「イスラムの世界」を学び、フランスへ行く前には「美術史と美術理論」を学びました。特に面接授業では年齢の違いはありませんが同室の受講生の方々と親しくさせていただき人間関係も膨らみました。希望を語りあえる友人が出来るのが楽しみです。

21世紀、日本は世界に類のない早さで世界一の長寿国になりました。高齢者医療の増大が日本の経済を脅かしています。年金や老人医療の見直し、介護保険の導入など、国や地方の行政はその場だけの対処療法政策だけで「老いをうけ入れて正しく生きる」きめ細かい政策がありません。「老いを病気ととらえずつきあっていく」そのために元気で長生きの生活条件を整えることが大切だと思

ます。第一にバランスの良い食事をとること、第二に無理のない運動を続けること、そして一番大切なことはストレスを無くすことです。放送大学の沢山の科目のなかには宇宙、地球環境、人間の衣食住そして文化等々、自分の感性と生活体験を生かし、ストレス解消する授業が沢山あります。私は今年6月に奈良国立博物館の「正倉院宝物」面接授業で正倉院宝物は日本が世界に誇れる千二百年前の生々しい宝物であることを教えられました。今秋、私は万余ある宝物のうち今年展示の78件をこの目で見ました。来年はどのような宝物が展示されるか今から楽しみです。限られた人生こんなことを知らなくて死んだら勿体ないと放送大学で学ぶことを明日への活力につなげています。私のモットーは「人生百年、最後は一週間」。元気で長生きをして最後の一週間で周囲の人に感謝の言葉を伝えこの世を去る。たった一回しかない人生です有意義に過ごそうではありませんか。

特集：

大学生活と卒業

支障を克服して

天野 義雄

放送大学には長いことお世話になりました。平成4年に人間の探求専攻を卒業致しまして、その後私立大学の通信教育生となりましたが、(1)教材のみ送ってきたこと、中には故人の教授の教材があったこと(2)スクーリングが夏期3週間続けて行われ、若い人々と共に冷房の部屋が少ないこと等であまり魅力がなかったので一年半位で退学しました。その後放送大学に再入学(「生活と福祉」専攻)致し、2年前の1学期の期末試験で最低2単位取得すれば卒

業可能な処迄来ましたが、2年前の6月に腰痛手術の為入院3ヶ月程後退院の為前述の試験は受けられませんでした。

入院中腰痛は80%程治癒しましたが歩行不可能となり、爾来歩行可能になることを望みに勉学して参りましたが、外出は車いすの生活となりました。

依って1学期末に退学の決意をしておりましたが、なんとか試験場への交通、付添人、他の支障等を克服しまして8月1日に試験を受けました。

その折の学校当局の御好意は今でも忘れません。その結果今度の卒業となりまして、去る9月27日に卒業証書お送り下さいましたのを受取ることができました。

老人も若わかしい気持ちに返り喜びは一入(ひとしお)でした。

放送大学は私にとり名実共、生涯学習のよき場でありました。今後は放送大学科目の好きなものを教材と放送で学んでいきたいと思っております。

特集：

大学生活と卒業

私にとっての卒業

伊藤 訓

長い間、心の中でひそかに思い続けていた「大学を卒業したい」という願いがかなえられました。卒業証書・学位記授与式に参列し、卒業証書を手にしたとき、「大学を卒業できた」という喜びを実感しました。

というのも、もう四十年位前になりますが、住込みで新聞配達のアルバイトをしながら高校に通っていましたが、挫折してしまいました。当時の同僚は大学生や予備校生でした。私は独立して一国一城の主になろう、そして経済的基盤をつくってから大学で学ぼうと、夢みたいなことを考えていたのです。何度か転職しましたが、三十代になって独立のチャンスが与えられました。十数年間、一国一城の主として卸業を営みました。しかし「問屋無用論」が出ていて、先行きが暗くなって来たので廃業し、現在の会社に転職しました。

仕事でも日常生活でも、将棋や囲碁などの定石のように、物事を上手に進めるやり方や考え方があるのではないかと思います。例えば、囲碁の「し

ちょう」という定石の型にはまると、逃げる延長線上に生き延びれる置石がない限り、逃げれば逃げるほど損害が大きくなります。大学に行くことによって、世の中のいろいろな仕組みや物の見方・考え方を学ぶことができ、視野が広まるのではないかと思います。独学でそれらを身につける人もいると思いますが、それには大変な努力が必要かと思えます。

受講したい科目があって思い切って「科目履修生」として放送大学に入りました。仕事に支障をきたさないようにと、一学期間に二科目位ずつ土曜・日曜の試験日を選んで受講していました。来期も継続して受講するのであれば「全科履修生」の出願もして下さいということで、平成七年一学期に正式に大学生となりました。相変わらず二科目位ずつ受講していて、「全科履修生」になって三年が経過しましたが、これまでの五年半で取ったのが四十三

単位位、まだ三分の一でした。

世の中の不景気風がわが業界にも押し寄せ、試験のため有休で平日に休んでも非難されそうになくなってきたので、受講科目を増やしました。私にとって難関である必須科目の体育実技は、硬式テニスを「ぜいぜい」いいながら、外国語科目は英語とスペイン語を面接授業にも冷汗をかきながら、挑戦しました。熱心なご講義とご指導のおかげで、なんとか単位が取れました。

「恥をかいた分、賢くなる」との同業者の話を授業にも活かしました。合計八年かかっていた卒業です。朝四時前後に起き、労働時間が十三・十四時間という状況のなかで、悪戦苦闘での大学卒業でしたが、その分喜びも大きいものとなりました。関係者の方々に感謝致します。放送大学で学んだことを、これから活かして生きたいと思いません。

インドのキャンパスで考えたこと

越川 敏子

特集：

大学生活と卒業

10月末のある一日、ムンバイ（ボンベイ）から東南へ200キロほどデカン高原に入った、プネーという都市の大学のキャンパスを訪れた。人口270万のこの都市に、公私立あわせて70以上のカレッジがあるという文教都市である。

キャンパスに入ってまず驚いたのはその広さで、数万坪もあり、バス停が数か所あるほか、インドのタクシーである「リキシャ」がずらりと客待ちしている。ブーゲンビリアやハイビスカスなど、熱帯の色鮮やかな花が満開だった。大きな樹の下では男子学生がひとり、静かに分厚

い本を読んでいたし、みどりの芝生には、十人あまりの女子学生が円陣を作って、教科書を手に討論をしていた。いかにも勉強しているという雰囲気があった。

旅行者がほんの一、二週間の滞在中でその国が分かる筈もないけれど、教室で講義中に、携帯電話を平気で掛けている学生が氾濫している日本は、もうそれだけでインドに追い越されていると感じた。

よく知られているカーストの問題も、才能さえあればどんどん外国へ出て行って、職業を選ぶことができる、そのための勉強だから、切実

さが日本の学生とは違うのだろう。たしかに大学に入れるのは一部の恵まれた人達かもしれないし、映画以外に娯楽もあまりないから、時間がたっぷりあるということもあるだろう。そう考えると、経済的、文化的に発展した社会は、あまり人間を幸せにしないのかもしれない。プネー大学の広いキャンパスのなかを歩きながら、そんなことを考えた。

放送大学と私 (メモリアルデー)

高橋 玲子

特集：

大学生活と卒業

2000年9月24日、この日は、私の放送大学2回目卒業の学位授与式の日であった。そして、シドニーオリンピックでは、高橋尚子選手がマラソンで日本女子陸上初の金メダルをとり、国内では私の応援しているプロ野球チーム、読売巨人軍が4年ぶりにリーグ優勝を決め、長島監督が胸上げをされた日でもあった。

さて、私は、昭和60年、放送大学の開校をその2～3年前から待ちかまえていて入学した。頑張って4年後に第一期生として卒業したいという願望もあったが、どう考えてみても無理であった。「広く知識を身につけたい」と思って入学するのだから、卒業のための卒業をしても仕方ないと思直し、7年を目標においてみた。科目申請時には、あれもこれも勉強したい科目だらけで毎回迷ったが、私なりの条件があった。当時、勤務先はまだ土曜日が休みではなかったこと、2人の息子もまだ小学校低学年だったことなどから、面接授業も試験日も日曜日でなければならなかった。さらに再試験となった

場合のことを考えて次学期の試験日も日曜日となっている科目を選んだ。大体4科目位を申請していたが、当時は3学期制だったので、けっこう忙しかった。

一番苦労したのは外国語科目で、英語は分厚い教科書で4単位科目であった。何回も挑戦したので教科書の中のドラマの内容を子供たちがすっかり覚えてしまい、何とも体裁が悪かったことを思い出す。その後、英語の内容は3科目に分けられ、2単位科目になったと思うが、結局私は、面接授業や他の科目と継ぎはぎだらけのような状態で、外国語科目の単位を充たした。面接授業も、当初は所属学習センターで受けなければならなかったが、後に改正され、どこのセンターでも受講できるようになって、友達もだんだん多くなった。

しかし、会社の仕事が益々ハードになり、長年の事務系の仕事から、右腕の炎症がひどくなってしまったことや、私の努力不足もあって、卒業論文を途中で断念し、平成7年3

月、第1回目「人間の探求」コースを卒業した。開校10年目の卒業式典は幕張メッセで行われたが、疲労困憊の状態で開催し、卒業論文のことも心にひっかかっていたため、全く嬉しくなかった。

今回、「社会と経済」コースを卒業することができ、ずっと引きづっていた卒業論文のことも、ようやく吹っ切ることができた。

16年間、低空飛行ではあったが、自分の好きな科目を選んで勉強できたことを、ありがたく、嬉しく思えるようになってきた。

残念だったことは、2回目入学からはほとんど面接授業の登録がされなかったことである。優先順位のかげんで仕方ないと思うのだが、今回の卒業パーティーでも顔見知りの方は1人も居らず、少しさびしく思った。

10月から又、「生活と福祉」コースに入学した。これからは1科目づつ、ゆっくり、しっかり勉強しようとおもっている。

エッセイ

21世紀へ向かって

大田 京子

8月の終わり頃、フェスタ・ヨコハマに始めて参加しました。目的は、小尾先生の講義で、宇宙地球科学の大好きな私は、一度小尾先生の講義を生で受けたいと、常々思っていましたので、先生の授業が受けられると、一も二も無く飛びつきました。

本物の先生から受ける講義は、宇宙の構造を解りやすく説明して下さって、本当に感動しました。テレビでもそうですがステキな先生でした。

講義が終り、立食パーティーになり嬉しい気持ちのまま、ついビールを飲んでしまい、編集部の人と顔見

知りだったので、原稿を頼まれて、普段はノミの心臓のような私なのに、この時は、ぞうの心臓みたいに太っ腹になっていたのが、安受けあいしてしまった。

こう言ったわけで、いよいよ本来の『21世紀に向けて』に入るわけだが、私としては、先ず放送大学の卒業である。何年先になるかはわからないが、頑張ってみるつもりである。今までは、試験と集中講義の時ぐらいしか学習センターに通わなかったが、これからは頻繁に通って友達を大勢作りたい。

それと放送大学に早く大学院が、出来てほしいことである。別に私が

行きたいというのではないが、大学院が出来るのを、首を長くして待っている人が、大勢居ると思うからである。他の大学の大学院はちょっと、と、二の足を踏んで居る人も、も一度上に行って、修士や博士になろうと思う人も、居る事であろう。人生が変わるかも知れないし、視野が、グーンと広がる事は間違いない。21世紀に向けて明るく、楽しく、勉強出来ればそれでいいと思います。

活動報告

サークル機関紙『かけはし』からの転載

身障者にとって果たして学習センターは利用しやすいか —三ツ木先生と臼井先生を囲んでのセミナー報告—

10月1日(日)、放送大学身障学生支援サークル「かけはし」は、かながわ県民センターにおいて、三ツ木先生(障害福祉論)、臼井先生(保健体育)をお迎えしてのセミナーを開催した。

テーマは、「身障学生にとって果たして学習センターは利用しやすいか」。今回は事前にアンケート調査を行い、それも参照しながら、身障学生の方たちがより快適な学習環境を獲得するための方策を、18名の出席者で話し合った。

まず、弱視の学生から「単位認定試験のさい、特別措置を受けず一般で受験したが、同室で複数の科目の試験が行われていて、立て看板はあっても座る位置がわからず、違う問題が配られた。」との体験が語られた。これに対して、「特別措置を受けると不安がないので、特別措置を受けられてもよいのでは。」「一般受験でも監督者は複数いるから、座席などの確認をしてもらったらよい。」「有名になる(顔を知られる)と、周りがフォローしてくれるようになるから、有名になるのも手である。」「一般で受験すると、友達ができてよい。」などの意見が出された。

また、視覚障害の学生から「点訳に回すため、学習センターで印刷教材の貸し出しをしてほしい。」との要望が出された。これについては、「印刷教材を本人分と音訳・点訳車用と2冊用意していた。」「登録した学期に印刷教材を点訳・音訳に回し、その学期は単位認定試験を受けずに再試験一発勝負で受験した。」「印刷教材をもらってから点訳・音訳に回す方法よりも、データをテキストファイルに落としてもらえれば、時間と手間の省略になる。」「印刷教材は目が見える人だけの物ではない。制度として予算化してほしい。」などの意見が述べられた。

コンピュータ利用については臼井先生から「印刷教材は、今はフロッピーではなく原稿を印刷業者に渡してできあがっている。全員の先生にフロッピー化を義務付ければ可能かもしれないが、コンピュータを嫌う人もいる。フロッピー化やそのキープは、その先生の好意でということになる。」というご説明があった。

ほかにも、放送教材の貸し出し要望に関する情報交換や英国のオープン・ユニバーシティと放送大学の比較、保健室は気軽に使えるのか・・・など、話題は多岐におよんだ。

現状をさらに改善するための方策として、三ツ木先生からは、「放送大学では、学生が提案し、これまで例のないことを第一例として実現する必要がある。ダメ

モトで何度も提案すること。」との御提言を、臼井先生からは「平成5年に大学側に要望を出した後、いくつか改善された。できるところからやるという姿勢が大学側にある。学生側としては、ワガママでない自己主張が必要。」とのご助言をいただいた。

アンケートについては、三ツ木先生から「放送大学では学生間のアクセスがなかなかできない。そんな中で、回答者を10人集めるのも大変だったと思う。今回の調査はきわめて小規模だが、知り得た事実は重要であるから、どう活かすかツメをやっていただきたい。」とお言葉をいただいた。

アンケートの集計結果から、紙面の都合により抜粋して掲載します。

(1) 学習センターの利用方法(複数回答)

単位認定試 10人 面接授業 9人
放送授業の再視聴 8人 図書館利用 3人
サークル活動 1人 その他 1人

(2) 学習センターの利用しやすい点はどんな点か?

東京第1 ・単位認定試験の特別措置や、面接授業用資料の拡大コピー等を頼みやすいこと。(視覚障害)

東京第3 ・駅から近い。(視覚障害)
現在は移転して、駅から遠くなりました。

埼玉 ・駐車場を無料で利用できる。(身体障害) ・開放的で明るい。(身体障害)

千葉 ・トイレや講義室に点字の表示がある。(視覚障害) ・職員が親切。(視覚障害)

神奈川 ・駅から近い。(視覚障害) ・校舎狭いから教室の場所が覚えやすい。

(視覚障害) ・試験や授業の時、室が狭かったが、広くなりラクになった。(身体障害)

北海道 ・履修科目が自由に再視聴できる。(視覚障害)

(3) 学習センターの利用しにくい点はどんな点か?

すべてのセンター ・談話室の自動販売機にも、点字表示がほしい。(視覚障害)

東京第1 ・講義室や教官研究室の部屋の表示位置が高く、見にくい。(視覚障害) ・図書室の書架の上の方が見にくい。(視覚障害)

東京第2 ・複数の試験を同じ教室で行う場合、自分の受験科目の席がわからない。(視覚障害)

東京第3 ・掲示物の場所、内容の確認ができない。(視覚障害)

埼玉 ・規模が大きすぎるために、場所がわかりにくい。(視覚障害) ・ビルの入り口、エレベーターなど、混雑時の利用に

困る。(視覚障害) ・各階に車椅子用のトイレがあるといい。(身体障害)

千葉 ・玄関のドアが重い。(身体障害) ・最寄りの駅からの距離がある。(視覚障害) ・広々としていて移動しにくい。(視覚障害) ・再視聴の時周りが気になって点字板を使えない。(視覚障害)

神奈川 ・掲示板などが通路の途中、入り口から窓口の途中にある。(視覚障害)

北海道 ・(テープを)他の学生が借りていると、再視聴できない。(視覚障害)

石川 ・点字表示がない。せめて、トイレぐらいはつけてほしい。(視覚障害)

(4) その他の意見・感想

・ロビーの空間が狭いので、人が多いときには移動しにくい。(身体障害) ・事務

の対応に問題がある。何かと「本部に相談して」という対応で、本部から返事がこないという理由で対応が遅い。(視覚

障害) ・表・図・写真などを読み上げてくれるサービスがあったらありがたい。(視

覚障害) ・体調が悪いときに、保健室が気軽に使えるかが気になる。(内部障害)

・放送授業のテープの貸出期間を延長してほしい。(北海道・視覚障害)

ビデオ学習センターでは、テープの貸し出しをしていたそうです。

<回答者のデータ>

年齢・20歳代 3人・30歳代 2人・40歳代 3人・50歳代 2人

性別 ・男性 5人 ・女性 5人

所属学習センター ・東京1 1人・埼

玉 1人・北海道 1人・東京2 1人・

千葉 2人・東京3 2人・神奈川 2人

障害・内部疾患 1人・視覚 6人・

身体 2人・無回答 1人

特別措置・あり 6人(試験時間延長、

点字・テープ・拡大読書器などでの受験)・

なし 3人・無回答 1人

片山 洋子
早瀬川麻里



活動報告

「菜の花の会」ができて

杉山 和子

今年の3月に放送大学視覚障害学生支援サークルとして「菜の花の会」が発足してからもう半年がたちました。この会は私が放送大学卒業後、点字を学び、点訳ボランティアとして過ごしている中で、何か放送大学で学ぶ視覚障害者の方の役に立ちたいと思っていたことを形にしたものです。

視覚に障害がある学生は勉強するのに点訳された教材を使います。しかし、学生と点訳グループのつながりは一対一で各々孤立しており、点訳サークルの横の連絡、視覚障害学生の横のつながりはあまりありません。しかも放送大学は全国に広がっており、視覚障害学生の数も一般の大学の比ではありません。ということは一つの科目を何人もが学生が科目登録し、それぞれ点訳依頼しており、これを全国でみると同じ科目をあちこちで重複点訳しているのです。

点訳というのは一文字ずつ入力します。ですから点訳には時間がかかり、早くて3ヶ月から半年かかります。もしすでに点訳済みであればそれをすぐに入手できます。そして点訳サークルもよけいな点訳をせずに済み、その時間を新たな本の点訳に使えます。そのためにも、どのサークルで

どんな科目をデータとしてもっているかを一覧表にすれば、学生はそのリストを見て、すでに点訳済みのデータはそれをお願い、ない科目を新たに点訳依頼する、そしてそれをまたリストに載せる。そうするとリストはさらに科目数が増え、より充実していく。このように私は考えたのです。

実際には昨年夏から、いろいろな方を通じて、大学側をお願いをし、何回かのお話し合いの中で、大学の先生も賛成してください、ご協力をいただけることになりました。そうして今年始めに在学している視覚障害の学生の方にご自分の点訳依頼しているサークルを紹介していただき、そのサークルに協力をお願いをしてやっと発足したのです。

視覚障害がある学生といっても全員が点字を読めるわけではありません。中途失明などで点字を学ぶ機会がなかった方は朗読奉仕で教科書を読んでもらって勉強しています。弱視の方もいます。しかし、点字で学んでいる学生にとってはこういうリストはとても欲しかったのではないかと思います。協力をお願いをした方からの返事はすぐにあり、第1回目のリストは14のサークル、67科目で発行できました。そして今月11月15日付で第2号の

リスト発行いたしました。今回はサークル数も科目数も少し増えました。また、点訳済み科目への複製(入手)依頼も何科目かあちこちのサークルにあったようです。また、この「菜の花の会」のリストの存在を知って、これまで放送大学に入学するのをためらっていた方が入学を決めたというお便りをいただいたりしました。

現在、「菜の花の会」のリストは年2回の発行を目指しており、さらに在学している学生の方にはリストを利用するだけでなく、このリストを充実していくために学生自身が点訳サークルやいろいろな情報をこちらに提供してくれるという「協力」をして欲しいと思っています。私が「菜の花の会」を始めるときに考えたのは、お互いがそれぞれの立場で協力しあう会にしたいということです。協力にはいろいろな形があります。その立場、立場でできる協力をすることによってこの会は長く続いていくことができるのです。どうか視覚障害のある方だけではなく、できるだけ多くの学生の方に「菜の花の会」のことを知っていただき、協力をお願いしたいと思います。(2000年11月19日記)

学生団体・サークルのお知らせと活動報告

放大かながわレク・サークル

活動報告: 晩秋の白樺高原へ

八木橋 文子

「漆紅葉」「銀杏黄葉」「雑木紅葉」紅葉、落葉のこの季節をたのしむ女神湖一泊二日の旅です。

平成12年11月11日定刻7:30 予定どおり横浜を出発、一行18人はそれぞれ、多彩な目的に胸を膨らませながら、車中ときおり空模様を気に掛けて、目的地に向った。

中央自動車道 ~ 美しの森 ~ 松原湖 ~ 蓼科ピーナスライン ~ 女神湖。

宿泊ペンション・アニ・ヒルズへ p.m.6:00到着。

夕飯のほのかにあまい香りのワインとフランス料理で疲れも忘れて、暖炉の炎のあかりのもとで、深夜まで団欒が続いた。放送大学のグループは、元中学

校々長の先生をなかに「教育論」に、はながさいた。

翌朝は、女神湖の神秘さに心うたれて、窓から暫らく離れることが出来なかった。水墨画のグループの方々は、カメラを片手に、霧のなかの湖へと、姿を消していった。

朝食には、りんごのフレッシュ・ジュースのさすがに美味しかったこと。

高原の朝日を頬に感じながら、蓼科牧場りんご狩りへと向った。

りんごを満載した車に乗って、快晴に恵まれた、学友との、はじめての楽しい旅を終えた。



神奈川放友会

10月には15名の新人が加わり140名の大部隊になり気分新たに頑張っています。

神奈川放友会は会員相互の交流の輪を拡げて親睦を図り、学習を援助する学生団体で下記のサークル活動をしています。

- ・行楽と研修を兼ねた旅行
- ・研修旅行（大学本部・図書館等）
- ・旅にいこう会（行楽地・名所旧跡等）
- ・学習に関する情報交換
- ・会員相互の研究発表

放送大学での学生生活をより一層充実させ交流の輪を拡げたい方の入会をお待ちしています。

- ・行事予定（12月～3月）
- 12月16日（土）忘年会
- 2月18日（日）旅にいこう会
- 3月17日（土）例会（翌年度の計画）

照会/入会申込先

〒235-0023 横浜市磯子区森1-15-1 810号
吉田 昭二
Tel/Fax 045-752-2783

神奈川放友会活動報告:

鎌倉寺めぐり

八木 秀夫

放友会恒例の行事「旅に行こう会」は、メンバーの一人田嶋さんの案内で、「鎌倉歴史散策の旅」と銘打って6月18日実施。

勉強の方はさておき、足には自身のある人ばかり16人が参加。

私は雨男だが、参加者の中にそれを凌ぐ強い晴れ男、否「晴れ女」が居たと見え、前日からの雨は上がっていた。

鎌倉駅西口を10時半出発。最初は、鎌倉文学館。入り口から玄関まで、鬱蒼と茂る草木に囲まれた緩やかな登り、途中の小さなトンネルが、幽玄な雰囲気醸し出していた。中には、鎌倉ゆかりの作家の原稿などが展示されていた。見学の後、前庭で建物をバックに記念撮影。

ここから南下、途中江ノ電の踏切を渡り海岸に出て右折、成就院へ向かう。少し行くと極楽寺坂切り通しの手前左側に階段が見えて来た。それを登ったところが成就院だ。階段の両側のアジサイは満開、本堂は非公開だった。

ちょっと戻って今度は北上。再び江ノ電の踏切、車体に絵の描いてある電車が通り過ぎた。さっきも待たされ二度目だが、それもまた楽しい。まもなく長谷寺に着く。ズルをして駐車場から入り、近道をして拝観券売場へ。

仏様には失礼して、拝観の前にまず昼食。話が弾む。試験や通信指導の話にはじまり、果ては「デカルト、カントが・・・」、さすが大学生！

田嶋さんから、ここには日本一の木彫の仏像が有る、などの説明。そのあと個々に見学。日本一の仏像はさすがに威厳があった。0時45分出発、帰りはちゃんと正面から出る。次は隣の光則寺。

入り口の賽銭箱に、百円入れて中に入る。小さなお寺だが、観光客が少なく落ち着いていてとても良い。かいどうの老木が有った。来年、花が咲く頃に来てみよう。本堂の左手を登ると奥に、日蓮の弟子で、当寺開山の日朗が幽閉されていたという土牢があった。格子の向こう側は暗く不気味で、日朗の気持ちを推し量ると、心が痛む思い。

光則寺を出て東へ行くと、車が渋滞した道路へ出た。排気ガスが充満している。早く逃れたい一心で黙々と40メートル、大仏の高徳院のはずれを右折する。とたんに緑が一杯の細い道、排気ガスの臭いのない爽やかな風が吹いてきた。大きく一息ついて、みんなは顔を見合わせる。「すごかったねえ。」左側は崖、見上げると空まで続く緑が、日の光にきらきら輝いている。天気は益々良くなってきた。来て良かった。そんな気持ちにさせてくれる。

そこから20分、銭洗い弁天に到着。お金を洗いに行く人は、僅かしかいない。ほとんどの人は、お金を増やしたくない(?)ので、出発時刻まで、休憩所にベタリと座ったままだった。

鎌倉駅の北で一部の人とお別れ。最後の力を振り絞って、鎌倉五山最古のお寺寿福寺へ。

裏のお墓のさらに奥に、北条政子のお墓があった。他に、高浜虚子のお墓もあるはずだが・・・もういいか。

16時25分鎌倉駅で解散。

案内をしてくれた田嶋さんを始め、皆さんの協力で楽しい一日でした。ありがとうございました。

最後に「晴れ女」さんにも感謝！

Nancy Class & うえるかむ

What is Nancy Class?

それは、講師のアメリカ婦人の名前から取った英会話クラスのことです。アメリカ本場の英語を私達神奈川学習センターの学生に指導してくれるのです。

このクラスは、学生有志による課外活動の一部として開かれている楽しい集まりです。

Communication Skills に重点をおき、英語の表現が自ら身に付くように訓練

されます。

是非、このクラスの扉をたたいてください。お待ちしております。

例会

Nancy Class

第2水曜 10:00~11:30

第4水曜 10:00~11:30

“うえるかむ”は、関東地区の学生達の相互親睦をはかるために合同行事[研修旅行、勉強会等]を行っている自治活動サークルです。神奈川学習センターでは、独自にNHK英会話を始め、ニュースコラムを読んだり、スコットランド民謡を聴いたりして、広い視野から英語勉強会を下記のとおり実施しています。

ご参加をお待ちしています。

例会

第3木曜 13:00~15:00

第4水曜 13:00~15:00

合同行事は、毎月1回程度開催

連絡先

星 : 045-844-9647

坂本 : 0467-31-8036 (19時以降)

人間学研究会

【例会予定】(2001/01 ~ 2001/04)
01/14(日) パソコンとインターネットについて(新井さん)

02/18(日) 日頃疑問に思っていること(安池さん)

03/17 ~ 18(土~日) 幕張本校の研修センターに(1泊の宿泊となります)

04/08(日) 総会

【例会】連絡先:

松本清康 045-302-1121

【歩きましょう予定】

第8回汽笛一声(新橋~桜木町)
本年に限り、12/23 から 01/07(日)に変更

33Km コース: 新橋桜木公園集合
08:00 受付開始

15Km コース: JR川崎東口ルフロン2F集合
09:30 受付開始

明神岳ハイキング 01/13(土) 雨天中止

小田原駅大雄山鉄道改札口に 08:00 集合

大雄山~明神岳頂上~宮城野

小笠原諸島を尋ねて 03/02 ~ 03/07(金~水)

父島母島を尋ねます、現地3泊+船中2泊です。

詳細については大出さんにお問い合わせ

わせ下さい。

【歩きましょう】連絡先：
大出鍋蔵 0468(41)7937 (橋村記)

【活動報告：講演「経済学者ヴェブレンの
早すぎたポストモダン批判」を聞いて】
大出 鍋蔵

去る 12 月 10 日人間学研究会が主宰し
た講演会で、標記の演題で坂井素思先生
のお話があった。参考文献の一つである
『有閑階級の理論』1899 年出版の本が小
原敬士訳で岩波文庫から出ているが 9 月
に品切れで手に入らず、事前に予備知識
をまったく持たないままの聴講であった
が、いろいろ考えさせられるものがあった。

その一つに、「必要以上に生産し消費す
るのはなぜか?」という問い、「人間の必
需以上の消費は見せびらかしのためだ」
と言う。なるほどと思うことがある。自家
用乗用車の一つの例として考えてみよう。
『有閑階級の理論』が出版された 19
世紀末は決して庶民のものではなかった
はずだ。当時は馬車が全盛であり、もちろ
ん、有閑階級には御者付きの馬車を持つ
者がいたはずである。それが自動車に
取って代わり、大衆車の出現する中で高
級車が造られ、運転手付きの乗用車を所
有するのが現代である。

ある大企業の副社長の話であるが会社
から運転手付きの車が与えられている
が、そのコストがばかにならないとのこ
とである。必要なときに何時でも乗れる
便利さがあるが、効率化を求める企業と
して考えさせられるものがあると語って
いた。ステイタス・シンボルのなにものも
なかろうか?

今や自動車産業の盛衰は一国の経済を
左右するほどの影響力を持っている。自
家用乗用車がなくては生活が出来なくな
っている一面があることも事実である
が、なぜそのような事になったのだらう
か?経済発展、社会進歩とは何か、大いに
考えさせられることである。生産行程に
おいて常にムダをなくし、効率化を求め
て発展(?)してきた資本主義経済は、今や
「見せびらかしの消費=不必要な消費」を
大量に生産しなければ存続しえないこと
になってきているのではなかろうか。そ
んなことを考えさせられた講演であっ
た。このようなことを指摘する書物が 100
年も前に出版されていたとは又驚きで
あった。

先生の「研究論文」が 3 月発行の『放送
大学研究年報 18 号』に掲載されるとの事。
これを待って会員の皆さんと話し合っ
てみたいと思っている。資本主義経済の特
質「不在主義」という「ポストモダン」が
存在するという現代社会とはなにか。

放送大学同窓会

新しい年を迎え神奈川同窓会はいろい
ろと行事を計画しています。皆さんの参加
をお待ち致します。

【今後の行事予定(1月～3月)】

映画鑑賞と坂井先生のお話

日時：平成 13 年 2 月 25 日(日)13 時 30
分～16 時

場所：神奈川学習センター 第 8 講義室

映画の題名：『バベットの晩餐会』

問い合わせ先：出 口 TEL 0467-24-0160

：佐々木 TEL 045-472-6482

多数の参加をお待ち致します。

フォスター・プラン活動展示

現在支援しているフォスター・チャイル
ド 5 人との交流状況を展示します。

展示場所：学習センター談話室

展示期間：平成 13 年 1 月 14 日～1 月 31
日

問い合わせ先：伊東 TEL 045-842-5300

：星 TEL 045-844-9647

ダンスサークル

日時：平成 13 年 3 月まで第 3 土曜日 13
時 30 分～17 時

場所：「アイウエオ」京急、黄金町駅改札
口を出て右へ 徒歩 3 分(TEL 045-252-
7848)

会場費：1300 円

問い合わせ先：西浦 TEL 045-781-4638

グランドゴルフ

日時：毎月第 3 日曜日 14 時～

場所：学習センター前大岡グランド

問い合わせ先：金子 TEL 045-621-3387

『波涛』第 2 1 号発行：3 月 1 日

(伊東記)

印刷教材購入のお知らせ

(財)放送大学教育振興会

*** ご注文方法 ***

ご注文は、ご購入希望の書籍名、お送り
先のご住所、ご氏名、ご連絡先の電話番号
をご記入の上、下記宛へお願いいたしま
す。ご注文の受付は、原則的に 24 時間 365
日ご利用いただけますが、お客様の対応窓
口及び商品配送業務は、土・日・祝日は休
みとさせていただきます。

また、お申込の方と納品先が異なる場合
は、その旨必ずお書き添えください。

(1).Fax でご注文の場合

0 3 - 3 5 9 2 - 2 4 8 2

(2).郵送でご注文の場合

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-14-1

郵政互助会琴平ビル 3F

(財)放送大学教育振興会販売部 宛

(3).インターネットで注文する場合
(財)放送大学教育振興会ホームペ
ージ上で、ご注文いただけます。

<http://www.ua-book.or.jp>

送料については、ご注文部数によ
って異なります。一冊のとき送料 310 円、
2～3 冊のとき 380 円、4 冊以上は無料。
(放送大学生は学生番号を記載すれ
ば、特別に一冊でも送料無料で。)

*** お届け方法 ***

お届けは、宅急便、郵便局の代金引
換とさせていただきます。

入手期間は、ご注文をいただいてか
ら最短 4 日。平均 1 週間となります。(在
庫数、地理的条件等により更に日数を
要する場合もございます。)また、書
籍の品切れ等の場合、別途ご連絡をさせ
ていただきます。

*** お支払い方法 ***

上記のご注文のお支払いは、代金引
換となります。書籍をお届けの際に、
ご請求金額(書籍代(税込)+送料)
をお支払いください。

領収書の必要なお客様にはお
送りいたしますので、その旨ご連絡下
さい。

(財)放送大学教育振興会 販売部
(TEL:03-3502-2750)

神奈川学習センターだより編集部

発行者：新飯田宏

編集者：五十嵐、遠藤、星、
加藤、松本、皆川、吉田、
斎藤、浅野、坂井

・イラストは前回に続いて、好評な坂
戸五葉さんに描いていただきました。
また、学生の方の「はる号」原
稿を募集しております。

放送大学学生募集

平成 13 年度第 1 学期

・出願受付：平成 12 年 12 月 15 日

～平成 13 年 2 月 15 日

・授業開始：平成 13 年 4 月 1 日

・現在資料配布中

・興味のある方・入学を希望する方
には、入学手続きや授業内容を記し
ました募集要項と授業科目案内を無
料でお送りします。はがき又は電話
で、神奈川学習センターへ請求して
ください。